

# 西光寺だより

第一九号 令和二年 七月一日発行

梅雨をむかえ、暑い日差し季節となりました。ようやく学校が再開され、少しずつ、徐々に日常が戻って来たような感じが致します。例年なら海水浴やプールと子供たちにとって楽しい季節ではありますが、今年はそういうわけにはいかないようです。まだまだコロナ禍の影響は世界に広がっており、私たちも日々の感染予防を心がけながらの日常であります。

そんな中、本願寺新報にあったお言葉を載せさせていただきます。

ウイルスで 死ぬのではない  
生まれてきたから 死ぬのだ  
いまさら 驚くことか・・・  
生きて 死ぬ いのちを  
生きている

この言葉は、蓮如上人の『御文章』の一節、延徳四年（一四九二年）に疫病が流行し、多くの人々が亡くなったことを受けて、お書きになりました。いま現在、世界中で新型コロナウイルスに感染して、多くの方が亡くなっておられることを思うと、たいへん厳しい言葉です。

しかし、蓮如上人は、決して、亡くなった方やその家族の心情を無視されたわけではなく、また、医療の努力を無駄なことだとしてこのようなことをおっしゃったではありません。

生まれてきたものは、必ず死んでいくという、いのちの真実を鋭く指摘されているのです。

しかしその真実を受けとめられないのが私の現実です。そのような私であることを見抜き、そのままの姿で救うと今ここではたらいとおられるのが、阿弥陀如来という仏さまのお慈悲です。

そのような阿弥陀如来の救いに出遇ったことを喜び、感謝のお念仏を称えながら、生きて死ぬいのちを精いっぱい生きていく道があります。

合掌

## ●今月のことば●

### お盆（盂蘭盆会）

お盆を迎えるこの時期、お仏壇のお飾りやお供えについて聞かれる事があります。（元来、いつも通りのお飾りで結構であります。）

浄土真宗のお盆には、他の法要同様に、打敷を掛け、お供えします。盆棚、精霊棚などの「盆かざり」といわれるような、ご先祖をお迎えするための供物や膳は使いません。わざわざ用意することはありません。

お菓子や果物、お餅などを適宜お供えします。お供えが多い時には、お仏壇の前に台やお盆を用意されても構いません。

お仏壇は「仏さまを安置する壇」であります。そして、ご存じの通り、浄土真宗のご本尊は阿弥陀如来（阿弥陀さま）であります。

阿弥陀さまは、ちよつとしたことにこだわり、苦しみ、悩み、自分自身を見失いがちになる私たちを救わずにはおれないと、常に寄り添って下さる仏さま。

「苦しみ・悩みなどないから必要ない」という方もいるかもしれませんが、本当にそうでしょうか。

仏教を開かれたお釈迦さまは、私たちは老・病・死に代表される《苦しみ》があることに気づかれました。そして、誰一人として、その苦しみから逃れることができません。たまたま今は元気で大丈夫という人も、そうでない日が必ずやってくる。お釈迦さまは、苦しみ迷い悩み続ける私たちが、阿弥陀さまのはたらきによって仏となってお浄土に生まれることができると示されました。

その阿弥陀さまをご安置するのですから、お仏壇は、私の『よりどころ』を確認するための大切な場所であります。

お盆の時だけではなく、普段から「阿弥陀さまへの敬いの気持ち」でお仏壇に向かいたいものであります。

また、お供えを仏さまからの「おさがり」と有り難くいただく心も大切であります。

### ◎灯明（おひかり）

私たちの煩惱を破る、仏さまの智慧のはたらきをあらわしているといわれています。

白ロウソクは、お盆や日常、七回忌までの年忌法要。

朱ロウソクは、在家報恩講や七回忌以降の年忌法要。

### ◎お香

一般家庭でのお香の種類は、折ってねかせて用いるお線香とお焼香のお香であります。

体臭などの悪臭を除き、心身ともに落ち着かせてくれることから、これを仏前にお供えすることが早くより行われてきました。

芳しい香りを通して、私たちが清らかなお浄土や阿弥陀さまのおはたらきを受け取るために供えます。

また、誰かれと区別することなくゆきわたるお香の香りから、阿弥陀さまのわけへだてなく注いで下さるお慈悲の心にもふれさせていただきたいと思えます。

### ◎仏花

阿弥陀さまのお徳を讃え、ご恩に感謝してお供えします。阿弥陀さまにお供えしているのに、花の向きを私たちに向けて供えるのは、美しい花を通して、私たちが清らかなお浄土や阿弥陀さまのおはたらきを受け取るためです。お店に「仏花」として花束が売られておりますが、そうでないといけないと思っておられる方がおられます。けれど、そうではありません。庭に咲いている朝露のついた、朝一番に切った季節の花、それもお供えしましょう。ただし、バラのようなとげ花、悪臭花、毒花、造花は避けましょう。



## ◆七・八月の行事◆

・八月 十五日（土）

孟蘭盆会法要

午後六時～

西光寺本堂

※なお、その時期のコロナ禍の影響を見ながら、

マスク着用のもと、換気を行いながらの予定であります。

どうぞご自由にお参りください。

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一―七―二

電話 〇七二―六二二―四七九四

FAX 〇七二―六二二―九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>